

「第11回すいせんウォーク」が1月19日、長島町文化ホールを発着点とする、「古墳めぐりコース」と「すいせんめぐりコース」の2コースで開催されました。

この日の参加者は、昨年最多同様の約1400人で、スタート後は長蛇の列となりながら、思い思いのペースでゴールを目指しました。

計画された両コースの沿道には、咲き始めた町花のすいせんがほのかに香りを漂わせ、参加者たちを歓迎しているかのようでした。

6㉔の「古墳めぐりコース」は、国道389号を蔵之元方面へ北上し、長島海峡や天草諸島などの雄大な景色を望みながら小浜古墳群を散策。その後、小浜海水浴場を通るコースでウォーキングを楽しみました。

12㉔の「すいせんめぐりコース」は、国道389号を黒之瀬戸方面へ南下し、唐隈の長崎鼻灯台公園で折り返すコースで、心地良い汗を流しました。

折り返し地点の長崎鼻灯台では、ボランティアが準備したふかしジャガイモやお茶が振る舞われたほか、灯台の回りを一周できる遊歩道やベンチで、壮大な東シナ海を前に心と体をリフレッシュしていました。同灯台では、一般公開も行われ、めったに見ることのできない施設内部の見学もでき、参加者らは喜んでいました。

6㉔コースに参加した鷹巢の伊東時代さんは「普段車で通るときと、歩くときの風景は別世界。見えないところが見えて楽しかった。長島の魅力が分かり、自分の暮らす町がもっと好きになった」とウォーキングの感想を話してくれました。

ゴール後は、発着地点の会場でふかしジャガイモやとん汁などが準備され、参加者は心温まるおもてなしに満足の様子でした。

そのほか、ジャガイモやタインなど長島の特産品が全員に当たる抽選会もあり、大盛況となりました。



- ① 中継所でボランティアのスタッフからふかしジャガイモをもらう参加者
- ② 思い思いのペースで歩きながら、12㉔コースの長崎鼻灯台を折り返す参加者
- ③ 長崎鼻灯台の一般公開で、休憩の合間多くの参加者が施設を見学
- ④ スタート、ゴール地点の町文化ホール前の駐車場では、さまざまな長島の特産品を販売
- ⑤ 咲き始めたすいせんを横目に、ウォークを楽しむ参加者
- ⑥ 長島の特産品が当たる大抽選会